

団地振興会報

第41号

今回は海から見た木材港です。昨年、久しぶりに乗った南海フェリーの甲板からの景観です。こうしてみると海からすぐに山かと思いますが、塩の山とガントリークレーン、コンテナに隠れた和歌山木材港団地140社が大きくなることに期待して…



和歌山
木材港団地振興会
会長
山本 進三

株式会社 山本進重郎商店
代表取締役 社長

年頭あいさつ

新年あけましておめでとうございます。令和最初の新年が始まりました。今期は暖冬のため寒さが和らぎ、また年末年始の休日が例年よりも長かったこともあり、私たちにとっては過ごしやすい正月であったのではないのでしょうか。

昨年10月に消費税が10%に増税され、増税後の景気の落ち込みが懸念されていましたが、政府の経済政策が功を奏したのか、飲食業等、一部の業界を除いて、さほど落ち込むことなく年を越すことができました。年が明けてからの状況も決して悪い訳ではなく、オリンピックに向けて良いスタートが切れたように思います。国際情勢においても、新年早々イランがアメリカ軍基地を攻撃する事態が起り、一時は株価も乱高下しましたが、程なく収まりました。決して楽観できる訳ではありませんが、今年も平穏で、何か良い兆しのある1年になることを期待して止みません。団地振興会、会員企業の皆さまの今年1年の繁栄とご多幸をお祈りします。

2020年の干支は「庚子(かのえ・ね)」となります。「庚(かのえ)」は十干の7番目にあたる年で、季節でいえば

秋の初め、生命サイクルでは結実という変化転換を表すそうです。

「子(ね)」はご存じの通り、十二支の1番目にあたり、種子が土中で発芽したまさにその瞬間を意味しています。「子」は生命のスタートであり、繁殖や発展を意味します。

文字通り上述の2つの運勢が混ざり合う年となるのですが、「庚」は金に属し、「子」は水に属するので、金と水の運勢が混ざり合うこととなります。金は温かい空気を冷やして水を作り出し、水の流れは土中に眠る金を洗い出し、人の手元に運んでくるとされています。これは「金生水」という、相生(そうせい)と呼ばれる関係にあり、互いを生かす関係のことで、相互に運勢が強められるそうです。

すなわち、「庚」で変化するという運勢と、「子」で発展するという運勢が互いに強められるということですから、新しいことをして(または大きな改革・改善をして)成功できる年であると解釈できるのではないのでしょうか。

昨今、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」、SDGs (Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標))が話題となっております。現在の文明を持続的なものに発展させていくため、私どもの事業も地球環境に優しい取り組みが必要とされてきております。2020年はまさにその始まりの年であり、私どもが共に変化していかなければならない年なのかもしれません。

会員企業の皆さまにおかれましては、2020年のオリンピックイヤーが皆様にとって新しい門出となる良い一年であることを祈念いたします。本年もどうかよろしくお願い申し上げます。

11月の団地一斉清掃活動、ご苦労様でした。

11月の団地一斉清掃活動は11月20日(水)から11月22日(金)までの間で行い、今回は土(泥)と草が対象でした。

以前からの懸案事項である、県による側溝清掃の要望を下津港湾事務所に行いました。

引き続き形を変えて要望を行っていく予定です。

皆様の継続した清掃活動をお願い致します。



グリーンベルトの剪定を行いました。

令和2年の新年早々の1月6日～7日にカイヅカイブキの剪定を行いました。

約100本を剪定、枯れた10本を伐採しました。

関係社に剪定の連絡をした折にいただいたご意見は次回の役員会で報告させていただきます。



第19回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会が行われます。

令和2年2月16日(日)恒例のジュニア駅伝が行われます。大会当日、団地内の道路においても車両通行規制が行われます。日曜日ですが、時間帯等により通行規制がかかりますのでご注意ください。詳しくは添付のパンフレットをご覧ください。

事務局より

あけましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。
新年号に変わって初めての新年を迎え、「令和初」をよく耳にしています。
いい方向の「令和初」を目指します。



発行日/令和2年1月31日
発行所/和歌山木材港団地振興会 和歌山市西浜1660番地378
TEL.073-445-5574 FAX.073-445-5599
発行人/団地振興会事務局